

## 1月3日のウクライナ情報

安齋育郎

### ●リチャード・ブラック大佐、米国は世界を核戦争に導いている(2022年10月7日)



私たちは、自分たちがしていることの重大さを理解する必要があります。ウクライナで何が起るか、それがアメリカにとって生死の問題であるならば、それは一つのことでしょう。確かに、ソ連がキューバにミサイルを設置し、米国を標的にしたとき、それは危険を冒す価値がありました。

なぜなら、それはまさに私たちの国境にあり、私たちが脅かすものだったからです。ソ連がキューバにミサイルを設置し、米国を標的にしたとき、それは国境にあり、私たちが脅かすものでしたから、リスクを取ってでも戦う価値のある戦いでした。



ロシアは、まさにその鏡のような状況にあります。なぜなら、彼らにとって、ロシアの命は、NATOがウクライナにさらに進攻し、国境のすぐそばまで来るのを阻止できるかどうかにかかっているからです。彼らにとって、この戦争をしないわけにはいかない。この戦争に勝利しないわけにはいかないのです。

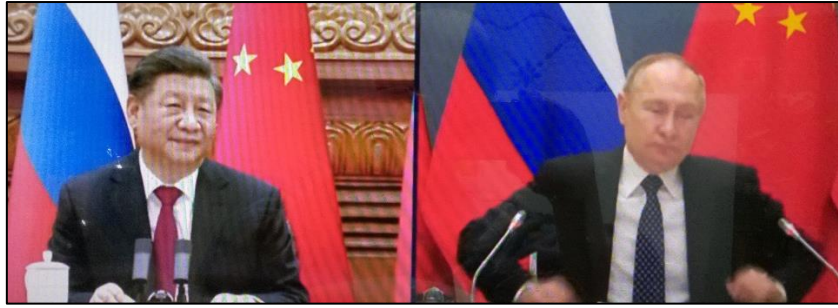
大佐 リチャード・ブラック :

ウクライナは戦争に負け、核ハルマゲドンを引き起こすリスクがある。



### ●中口首脳の対話の内容(2022年12月30日)

<https://youtu.be/WkkDGaD2L5E>



※安齋注:これは両国首脳の間を推し量る上でとても有意義な映像です。本気度が推定できます。

### ●今更ながら、リチャード・ブラックのブチャの虐殺論(2022年9月)

<https://youtu.be/DVf1RbJ51rY>

ロシアが何でそんな事をやる必要があるのかと、リチャードは真剣に問いかけています。



### ●年末年始のロシア空軍(2022年12月31日)

ロシア国防省は、年末年始にロシア空軍の第一防空・ミサイル防衛特殊部隊約 2 万人が、防空及びミサイル防衛を行うと発表した。

首都圏では 7,100 人の警察官が大晦日に勤務する。



### ●ロシア軍はザポリージャ地方のドロジニャンカを解放しました(2022年12月31日)

ロシア軍はザポリージャ地域のドロジニャンカ村を解放しました。

これは、国防省の公式代表であるイゴール・コナシエンコフ少将によって述べられました。

彼によると、同村は南ドネツク方向への攻撃行動の成功の結果として解放されたということです。「最大 50 人の軍人、3 台の歩兵戦闘車、2 台の装甲戦闘車、5 台のピックアップトラックが破壊されました」とコナシエンコフは言いました。

彼はまた、先日、ロシア軍がウクライナ軍の 75 の砲兵部隊を発砲位置で攻撃することに成功したと述べました。

「ドネツク人民共和国のフェドロフカ村の地域では、陣地が開かれ、ウクライナの S-300 対空ミサイルシステムのレーダーが破壊されました」とコナシエンコフは付け加えました。



### ●ギリシャの住民、EU のエネルギー政策の誤りを非難(2022年12月31日)

クレタ島の年金受給者の話によると、以前は月 1,300 ユーロ(約 18 万円)に達していた年金は、今では月 700 ユーロ(約 9 万 8 千円)にも満たず、ほぼ半分が電気代に費やされているとのこと。



### ●リチャード・ブラック大佐の戦況観(2022年12月)

<https://youtu.be/XdshHJW3PMU>

※安齋注:日本語字幕がついていませんが、字幕を呼び出すには、画像右下の「設定」(右から4番目)をクリックして「字幕」を見つけてクリックし、次に「字幕(英語自動生成)」をクリックして「自動翻訳」から「日本語」を選んで下さい、ちょっとめちゃくちゃな日本語も出ますが、大意は分かるでしょう。要するに、ウクライナに勝ち目はないということでしょうね。この人は核戦争勃発危機論者です。



## ●ストルテンベルグのウクライナ戦争観(2022年12月30日)

NATO 事務総長イェンス・ストルテンベルグは、ウクライナへの西側の軍事援助は医師が処方したものであると信じています。彼によると、これは「可能な限り短い時間で平和を確立する」ために必要なものです。

ドイツの通信社 DPA とのインタビューで、ストルテンベルグは、ロシアに和平交渉に同意させる唯一のチャンスは、軍事的手段では目標を達成できないという事実に立ち向かうことであると述べた。

「逆説的に思えるかもしれないが、ウクライナへの軍事支援は平和への最速の道だ」と NATO 高官は述べた。ロシアのウラジーミル・プーチン大統領は、彼の軍隊はウクライナを引き継ぐことができないと結論付けなければなりません。そうして初めて、クレムリンは紛争の解決を交渉する準備が整います。」

「彼らに彼らが望むところならどこでも撃たせてください、そうすれば私たちはより多くの武器を与えます」

同じインタビューで、ストルテンベルグはロシア領土の軍事目標に対する最近のウクライナの攻撃について話しました。さらに、彼は「すべての国が自衛権を持っている」と肯定的に話しました。つまり、NATO 事務総長はこれらの攻撃を公然と正当化しました。

西側が中距離弾道ミサイルをウクライナに送るべきかどうか尋ねられて、彼はいくつかの NATO 加盟国が「特定のシステムに関してキエフとの対話に従事している」と述べた。彼はどれを特定しなかったが、「軍事ブロックの数人のメンバー」がすでにウクライナ軍に、アメリカ生産の M142 HIMARS 多連装ロケットシステムやドローンなど、より広い範囲の兵器システムを供給していると述べた。



※安齋注:この人はアホなのか、もうやけくそでアホを演じているのか、意に反してアホぶっているのか、とにかくこういう人をトップに据えると大問題ですね。

## ●RT ウクライナのフェイクをイーロン Twitter のコミュニティ・ノートが暴く！ (2022年12月30日)

イーロン・マスクが装填したコミュニティ・ノートが大活躍！

ウクライナ議員がしれっとアップしたフェイク画像がすぐさまバレる。さらに騙された国連の人の事も出てきます。

<https://odysee.com/@Jano:7/UkraineFake:d>

※安齋注:このフェイク・ニュースについてはすでにお知らせしましたが、改めて「ロシア・トゥデイ」でも取り上げられていたので紹介します。恐ろしいことにこのフェイク・ニュースの送り手には 30 万人ものフォロワーがいて、億連関係者もだまされているということです。



## ●大規模なミサイル攻撃:ロシア軍の 50 発以上のミサイルが予想され、ウクライナ全土に航空警報が発令(2022 年 12 月 31 日)

不安は再びウクライナの領土のほぼ全域で轟音を立てています。地元の情報筋は、ロシア連邦軍の約 50 発のミサイルが飛んでいると書いています。

ミサイルの接近は、OVA バッグの頭によって確認されます。ムィコラーイウとドニプロペトロフスク地域は光から切り離されています。

「おそらく、それはキエフに飛ぶ」とウクライナのメディアは書いている。

## ●ウクライナ安全保障理事会のダニロフ議長:「すぐにモスクワで航空警報が鳴るだろう」(2022 年 12 月 31 日)

ウクライナの国家安全保障会議の書記であるオレクシー・ダニロフは、しばしば非常に過激な発言をします。

もう一度、彼は来年(または明日でさえ)ウクライナ軍がモスクワを攻撃することをほのめかしました。これは、テレビのプレゼンターでジャーナリストのルスラン・オスタシコのテレグラムチャンネルによって報告されています。

「すぐにモスクワで空襲警報が鳴るでしょう」と、ファーストチャンネルのルツソフォバプレゼンターはルツソフォバの言葉を引用しました。

しかし結局のところ、「新年の贈り物」はロシア陸軍のセルゲイ・スロビキン将軍によって送られているとオスタシコは言いました。

## ●南部軍管区本部でのプーチン(2022 年 12 月 31 日)

南部軍管区本部で将兵を前に、特別作戦の目的を説明し、新年のあいさつをしたプーチン大統領。ショイグ国防相、ゲラシモフ参謀総長も同道していた。

<https://twitter.com/tobimono2/status/1609194251279306752?t=gjc25AlcQgNRXOFga1ypDg&s=09>



## ●プーチン大統領の新年の挨拶(2023年1月1日)

”

「尊敬するロシア国民の皆さん。親愛なる皆さん。2022年が終わろうとしています。今年はロシアの完全な主権や我々の社会の協力的な統合に向けた最重要なステップである必要不可欠な難しい決定の年となりました。そして、多くのことを身に着けた年でもありました。勇気と英雄主義を裏切りや臆病さから明確に分け隔てた年でした。家族や親類への愛、友人や仲間への忠誠心、祖国への献身に勝る力はないことも示しました。

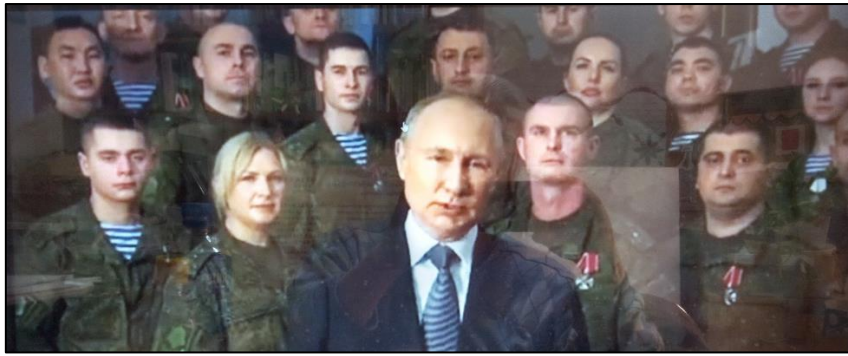
今年は本当に将来の運命を決定する重要な出来事の年でした。その出来事とは我々の真の独立という共通の未来の礎となる境目となりました。そのために我々は今日、戦っているのです。ロシアの歴史的領土である新しい連邦構成主体の人々を守っているのです。一緒に建設し、創造しているのです。

もっとも重要なのはロシアの運命です。祖国防衛は我々の祖先や子孫を前にした聖なる責務です。道徳的、歴史的正義は我々の側にあります。去りゆく年は我々の国と世界の両方に大きな変化をもたらしました。それは、激動や不安、心配にあふれていました。

それでも我々多民族のロシアはロシアの歴史上のいかなる困難な時代でもそうであったように、言葉と行動で勇気と尊厳を示し、我々の兵士や将官、特殊軍事作戦に参加する祖国の守り人を支持してきたのです。

我々は常に知っていましたが、ロシアの主権、独立、安全な未来は我々の力と意思だけにかかっているのだと再確認しました。西側のエリートたちは何年もの間、ドンバスにおける紛争の解決を含め、平和的な意思を偽善的に保証してきました。実際、ドンバスの共和国で民間人に対してあからさまに軍事テロ行為を行ってきたネオナチをいろいろな方法で奨励しています。

西側は平和について嘘をつき、攻撃の準備を進めていました。そして今日、彼らは遠慮もせず公然とそれを認めています。彼らは無恥にも、ウクライナとその国民をロシアの弱体化と分裂のために利用しているのです。我々は決してそれを許してこなかったし、これからも許しません。」



### ●DNR と LNR の第 1 軍団、第 2 軍団がロシア軍に編入(2023年1月1日)

プーチン大統領の戦旗贈呈の為の国防省の資料によると、DNR と LNR の第 1 軍団と第 2 軍団は、ロシア軍に編入されたとのこと。



### ●ドネツクでの民間人の犠牲者数(2023年1月1日)

ドネツク人民共和国で敵対行為が続く中、2022 年に約 1,091 人の民間人が死亡し、3,500 人以上が負傷したと、地域の人権オンブズマンが12月30日に発表した。2014 年以来、DPR の民間人の死者総数は 5,441 人に達していることが公式発表で明らかになった。



### ●朝日新聞記者、キエフで負傷(2023年1月1日)

キエフに駐在する日本の朝日新聞社の記者、関田航は2022年12月31日に負傷したことを明らかにした。

市長のクリチコはキエフ中心部で爆発があったと語った



## ●オリバー・ノースの弁(2022年12月30日)

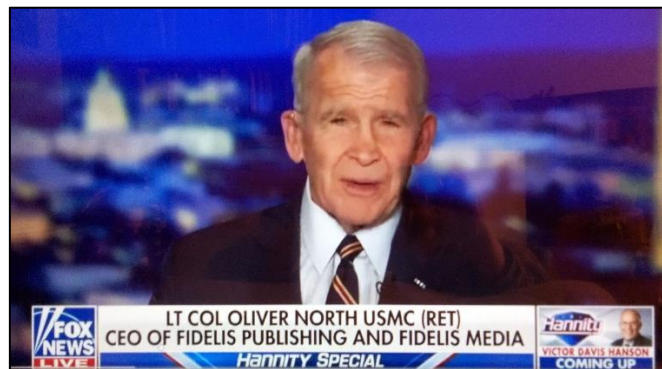
イランコントラの重罪犯オリバー・ノースの驚くべき率直さ。

ウクライナは、レーガンの中米、アフリカ、アフガニスタンでの汚い戦争と同じだ。

援助のほとんどは、米国の兵器メーカーと議会の請負業者へのキックバックである。

この代理戦争は、台湾をめぐる中国とのより大きな戦争のための準備である。

※安齋注:オリバー・ノースは「イラン・コントラ事件」(ロナルド・レーガン政権下、「コントラ」への援助金を得るためにイランに武器を秘密裡に輸出した事件)で重要な役割を果たしたことにより全米に名が知れ渡った。現在、彼はアメリカ合衆国において保守的な政治評論家として活躍している。「この代理戦争は、台湾をめぐる中国とのより大きな戦争のための準備である」という彼の意見は、安齋も傾聴に値すると感じている。もしも台湾を舞台に中国とアメリカの衝突が起これば、日本は直接巻き込まれる。敵基地攻撃能力の増強は、そうした動きの一環か？



## ●戦場記者アレクサンドル・スラドコフ氏の弁(2022年12月30日)

「仏前大統領オランドは、民族主義者を武装させる時間を確保するためにロシアを欺いたことを恥ずかしげもなく認めている。ミンスク協定の欧州当事者は悪党でありペテン師だ。キエフは悪党と結託している。悪党は一生の汚点だ」。

